

○事業所名	放課後等デイサービス HERO		
○保護者評価実施期間	令和7年 1月 21日		～ 令和7年 2月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19	(回答者数) 16
○従業者評価実施期間	令和7年 1月 28日		～ 令和7年 2月 22日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 2月 24日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者や子ども達目線で支援に取り組んでいる	利用者の年齢の幅が広いと、活動や遊びのときはそれぞれの特性に合わせてサポートするようにしている。 また、保護者と送迎時に子どもの様子について共有することを心がけている。	年齢の幅が広くなり、それぞれのニーズも異なるため活動を分けるなどしてより意向に沿った支援に取り組めるようにしていく。
2	多様な活動プログラムの実施	子ども達の特性などを考慮しながら、活動プログラムの内容が偏らないように配慮している。 季節ごとのイベント、祝日にも合わせて活動内容の幅を広げようとしている。	『楽しかった』『またやりたい』と思ってもらえるような活動プログラムを実施するために、職員間で活動内容の意見交換を行ったり情報収集をするなどそれぞれが内容の質を向上させていくことを意識していく。
3	利用日時の変更に柔軟な対応	学校が休校、早下校の際に固定利用日以外の曜日であっても利用希望があれば可能な範囲で受け入れている。長期休みの際も、定員人数を超えない範囲で受け入れを行っている。	活動プログラムの内容で『利用したい』と言って頂いているご家庭もあるため、今後も可能な範囲で受け入れていきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士の交流の機会が少ない (イベント、保護者会など)	保護者同士の交流の場が少なく、相談相手や境遇に関する共感者が限られているため保護者の中には孤独感を覚えている方もいる。	働いている保護者も多いと、開催する際は日時に配慮する必要がある。また、保護者交流の内容によっては場所の確保も必要になるため検討する。 イベントに関しても前回(HERO)祭りの反省を踏まえた上で検討していきたい。
2	他の放課後等デイサービスや児童館との交流や活動が少ない	以前は他の放課後等デイサービスとの交流があり子ども達にとってはいい刺激になった様子が見られた。 外部との交流が今年度は無かったため、利用者の中には物足りなさを感じたかもしれない。	他の放課後等デイサービスや児童館と交流の機会を設けるには事前準備や予定の調整もあるためすぐには実施することは難しい。 実施を検討するのであれば長期休みが現実的と考えられる。
3	セミナーや研修の受講回数が少ない	職員全員で十分に研修やセミナーを受けられておらず支援の質に差が生じているように感じる。	管理者がセミナー及び研修に対する情報収集を行い、受講機会を設ける。研修の日時に応じて、勤務時間を調整し上席に報告していく。